

持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	北陸農政局
				目標値	基準年 年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な 取組内容		
新潟県	新潟県花き振興協議会	チューリップ ユリ	令和3年度	新潟市中央卸売市場花き部 及び新潟植物地方卸売市場 の県産花きの取扱量の合計 の増加	9,355千本 (10%増加)	8,504千本 (H27-R1 5中3平均)	5,234千本	-384.2% 未達成	生産・流通に係る 課題解決に向けた 技術実証(日持ち 性向上技術実証 等)、需要の拡大 に向けた取組(消 費者向けイベント 等)	成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。 なお、成果目標の指標について、協議会内での考え方の不一致等が原因で、新潟植物地方卸売市場が令和4年6月の通常総会をもって協議会を退会し、県等が電話や直接訪問を通じて再三にわたる説得を行ったが、取扱量のデータ提供について協力が得られなかったこと、県内での取扱量は少子高齢化・人口減の傾向があり拡大が難しいことを鑑み、域外に流通するものも含まれる「全国農業協同組合連合会新潟県本部の花き取扱実績金額」に変更することとする。
				新潟市の家計調査における 切り花及び園芸用植物・園芸 用品の支出金額の増加	17,488円 (5%増加)	16,655円 (H28-R2 5中3平均)	16,079円	-69.1% 未達成		成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
石川県	石川県花き振興地域協議会	エアリーフロー ラ(フリージア) 切り花葉ボタン	令和3年度	活動区域における花きの生 産又は販売の数量若しくは 金額の増加 (上段:エアリーフローラ、下 段:切り花葉ボタン)	322千本 604千本 (10%増加)	292千本 549千本 (H27-R1の 5中3平均)	268千本 374千本	-80.0% -318.1% 未達成	生産・流通に係る 課題解決に向けた 技術実証(出荷調 整技術実証、露地 での球根生産の省 力化実証等)、需 要の拡大に向けた 取組(消費拡大プ ロモーション活動、 花育体験)	<p><b>〈エアリーフローラ〉</b> 目標未達成の原因としては、生産資材や人件費の高騰により令和5年産から一部の球根価格を上げたことから生産者が栽培規模を縮小しており、その結果、県全体の生産規模が縮小したこと、令和6年産の能登半島地震の被害により収穫できなかった場があり、予定していた出荷数を確保できなかったこと等が挙げられる。 加えて、震災及び同年9月の奥能登豪雨の後は、生活再建の優先、ほ場被害、労働力不足等の理由から廃業をした者や生産を縮小している者が複数おり、全体として、災害前の生産規模に回復することは困難である。 以上のとおり、社会情勢の変化や、災害の発生などにより目標の達成が困難になっていることから、やむを得ないものとして今回で評価を終了する。 なお、事業実施主体では、引き続き新規に栽培を始める者の掘り起こしを行うとともに、生産者の離農を抑制し、産地を維持していくため、出荷率の高い生産者を講師とした現地巡回を地域ごとに開催するなどにより、生産者同士のつながりを強化し栽培技術の向上を図ることにより、産地の維持・振興を図ることとしている。</p> <p><b>〈切り花葉ボタン〉</b> 目標未達成の原因としては、ここ数年来続いている高温により、発芽不良や害虫による欠株、根張りが悪くなることによる生育不良(草丈不足や葉の巻きの緩み)、着色不良(色もどり)が発生し、品質が低下したため出荷量が減少したことによる。 また、県下最大の切り花葉ボタンの産地において、生産者7名が、より高単価が見込めるスプレーストックへの品目転換を行っている。スプレーストックは、高温による花色変化がなく、ハウスの温度管理が比較的容易であることから、今後も葉ボタンからの品目転換が進む見込みである。 加えて、令和6年産の能登半島地震及び同年9月の奥能登豪雨の後は、生活再建の優先、ほ場被害、労働力不足等の理由から廃業をした者や生産を縮小している者が複数おり、全体として、災害前の生産規模に回復することは困難である。 以上のとおり、気候変動による栽培環境の変化、災害の発生などにより取組が困難になっていることから、やむを得ないものとして今回で評価を終了する。 なお、事業実施主体においては今後、病害虫の早期発見や防除の徹底に努めるほか、色もどりにくく着色に優れた品種を探し、品種の切り替えを進めるなど、産地の維持・振興を図ることとしている。</p>
				活動区域において花育又は 園芸体験を受講した者の花 きの購入数量又は購入金額 が受講前に比べて増加した 者が30%以上	30%	—	—	—		成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
福井県	福井県花き連絡協議会	キク	令和3年度	活動区域における花きの10a 当たり生産コストの低減	953,230円 (5%削減)	1,003,400円 (H30)	946,393円	113.6% 達成	生産・流通に係る 課題解決に向けた 技術実証(高耐病 性キク品種の選 定・栽培技術実 証、日持ち性上 技術実証)、需要 の拡大に向けた取 組(消費拡大プ ロモーション活動、 花育体験)	成果目標は達成された。
				活動区域における花きの10a 当たり収量の増加	37,800本 (5%増加)	36,000本 (H30)	37,813本	100.7% 達成		成果目標は達成された。
				活動区域における花きの販 売業者の取扱数量または販 売金額の増加	26,597千円 (5%増加)	25,330千円 (R1)	27,533千円	173.8% 達成		成果目標は達成された。

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。